

たんとうの花々チューリップ+ひまわり+田んぼアート+ナツツバキ

但東地域は広大な農地で構成されており、たくさんの花やその他の植物が育つには理想的な場所です。そのため、但東は4月に開催される「たんとうチューリップまつり」で有名です。その目玉は、たんとう花公園で育つ300種類以上の約100万本のチューリップです。このカラフルなお祭りのハイライトは、チューリップ約10万本を使って伝統的なダルマや地元のマスコット、漫画キャラクターなどの日本の象徴的なキャラクターを描く、見事なチューリップアートです。お花の他にも、この家族で楽しめるお祭りには写真コンテストや地域バザー、屋台などがあり、ゲストも楽しむことができます。

チューリップで満たされた春の後、夏になるとこの地域はその他のたくさんの花と田んぼアートの天国に変わります。田んぼアートでは、水田が古代の穀類のキャンパスに変えられます。田んぼアートは赤・白・黒・紫・黄色の5種類の古代米で作られたさまざまな絵を展示します。6月もまた、開花したアジサイと「奥赤あじさい祭り」を見ることができます。一方で6月と7月には、安国寺公園で群生して育つたくさん白いナツツバキが見られます。ヒマワリはたんとう花公園で「たんとうひまわりまつり」が開催される8月のハイライトです。一方で秋には周辺の木々が赤・オレンジ・黄色の素晴らしい色調に変わり始め、冬は地域全体が雪で真っ白な汚れのない景色に変わります。

但東地域には安国寺もあり、訪問者は樹齢約150~160年の見事なドウダンツツジの木々を垣間見ることができます。並ぶものがないそれらの木々が、このお寺に対して素晴らしい背景を作り出しています。秋の間は鮮やかな紅葉が自慢であり、夜間にはライトアップもされます。またこのお寺は、木々が豊かな緑の葉を見せる一年の他の時期にも訪れる価値があります。